

令和元年6月市議会建設水道委員会資料

第70号議案 令和元年度長崎市一般会計補正予算(第2号)

目次	ページ
[8款 土木費 4項 港湾費]	
1目 港湾管理費	
・【単独】港湾施設整備事業費 形上海岸海洋スポーツ支援広場	1~7
[8款 土木費 5項 都市計画費]	
1目 都市計画総務費	
・【単独】都市交通対策事業費 バス待合所設置事業費補助金	8~10
2目 都市開発費	
・繰越明許費補正	11~13
[8款 土木費 6項 住宅費]	
1目 住宅管理費	
・住宅政策協議会費	14~15
・【補助】既設公営住宅改善事業費 小ヶ倉団地ほか	16~22
・【単独】既設公営住宅改善事業費 小ヶ倉団地ほか	16~22

まちづくり部
令和元年6月

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
46～49	8 土木費	4 港湾費	1 港湾管理費	1-1	【単独】港湾施設整備 事業費 形上海岸海洋スポーツ 支援広場	千円 2,100

1 概要

形上湾（琴海地区）は、県内唯一の公認ボートコースがあり、国体の九州ブロック大会や県高等学校総合体育大会、県民体育大会など各種ボート競技が開催されており、海洋スポーツの拠点となっている。また、市町村建設計画（平成17年2月）においても「湾の活用」が位置づけられている。

そのため、同湾の強みを活かし活用を図るため、永続的にボート競技が開催され、また、同湾一帯を海洋スポーツの拠点として、ボート競技の普及・振興につなげていくために、円滑な大会運営を支援するための広場機能が必要であるので、形上海岸（琴海大平町）の背後地に本部席や観覧場所などとして利用可能な広場を整備する。

2 事業内容

(1) 取得面積

A＝約 3,400 m²（104m×33m）〔長崎市琴海大平町 地権者：8名、10筆〕

(2) 取得目的

・海洋スポーツの拠点として、ボート競技の円滑な運営を支援する広場を整備する。

(3) 総事業費

46,100 千円

令和元年度：用地測量、鑑定評価など	2,100 千円
令和2年度：用地購入、整地工事	44,000 千円

(4) 令和元年度事業内容

ア 委託料（用地測量） 1,500 千円

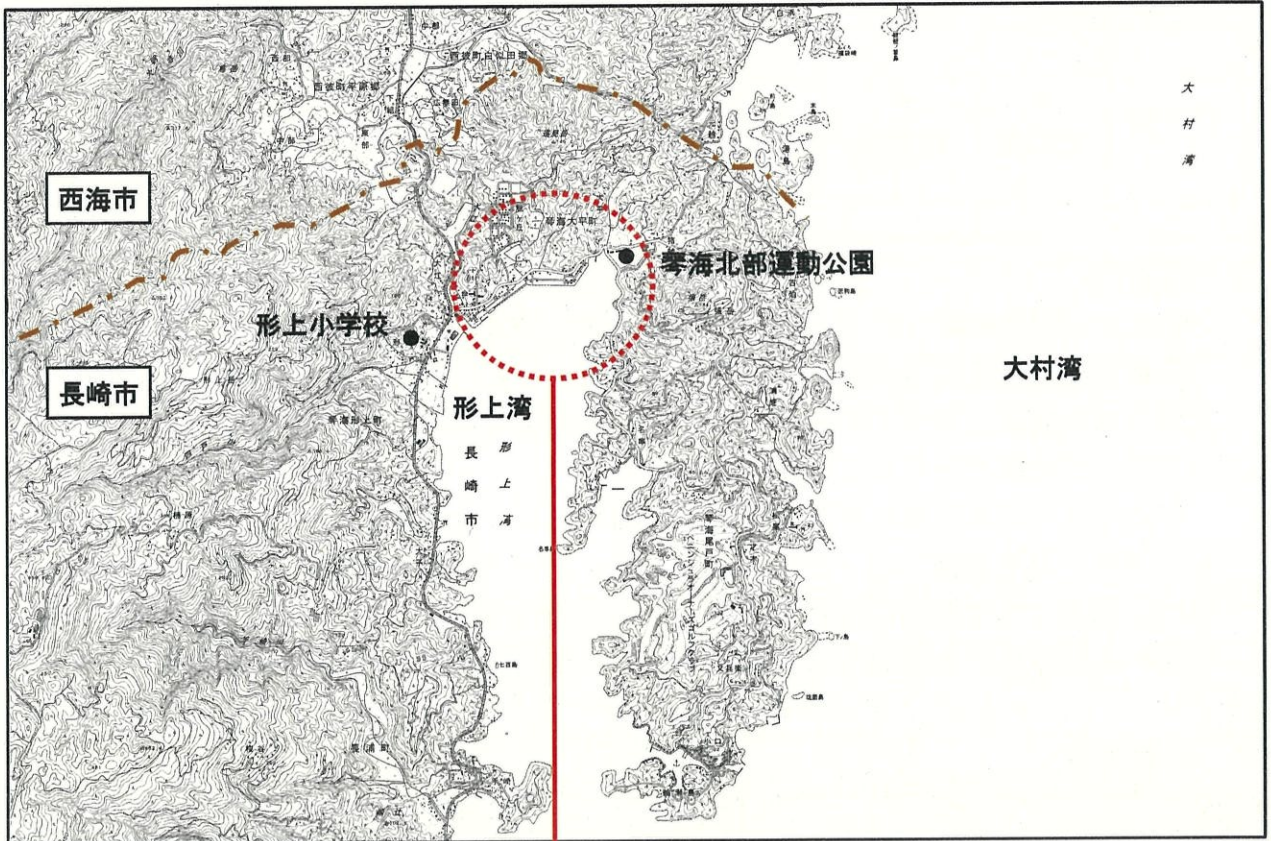
イ その他経費（鑑定評価など） 600 千円

3 財源内訳

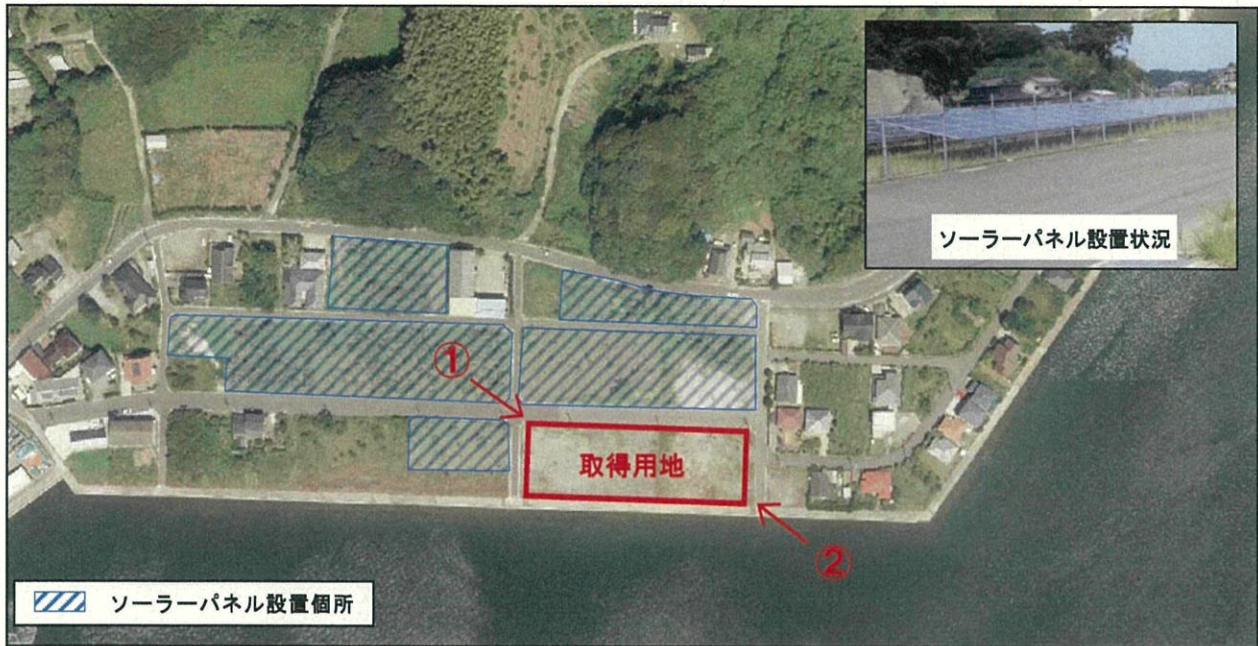
区 分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債 ^{※1}	その他	一般財源
当初予算額	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
6月補正額	2,100	—	—	1,900	—	200
補正後	2,100	—	—	1,900	—	200

※1：起債充当率95%（合併特例事業債）

4 位置図



5 現況写真



6 地元等からの要望

H24. 02. 03 琴海地区連合自治会より長崎市長あて要望

<要望内容>

- ・高潮対策事業として緩傾斜護岸整備を要望する。
- ・海洋スポーツが盛んな当地では、各種イベント施設エリアや見物人の観覧場所が必要となるため、護岸背後部分に相応の広場設置を要望する。

H28. 11. 29 琴海地区連合自治会より市議会議長あて陳情

<要望内容>

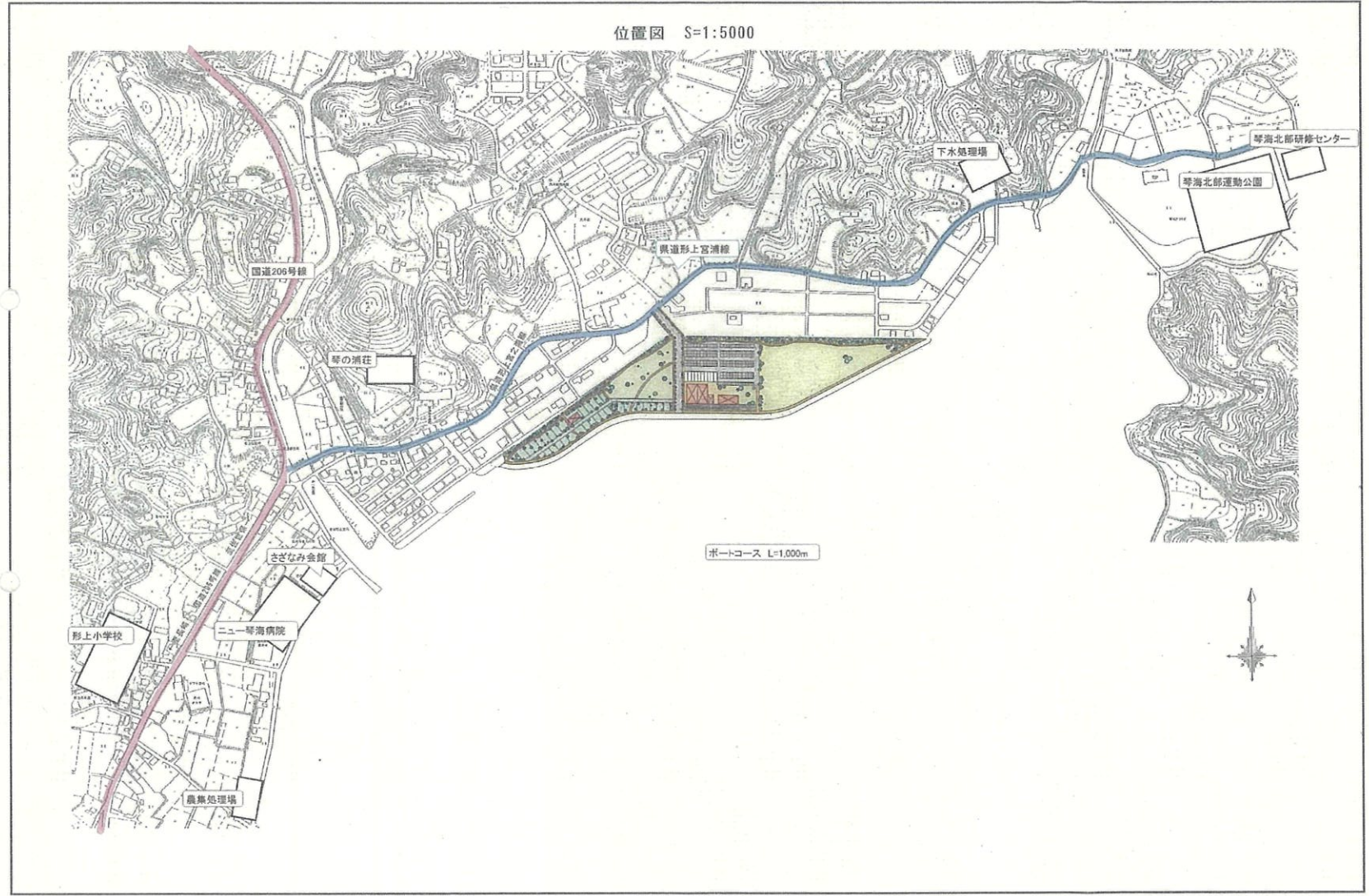
- ・海洋スポーツの開催エリアや観覧場所を備え、高潮対策事業となり得る海浜公園の整備推進を強く要望する。

H31. 01. 07 長崎県ボート協会より長崎市長あて要望

<要望内容>

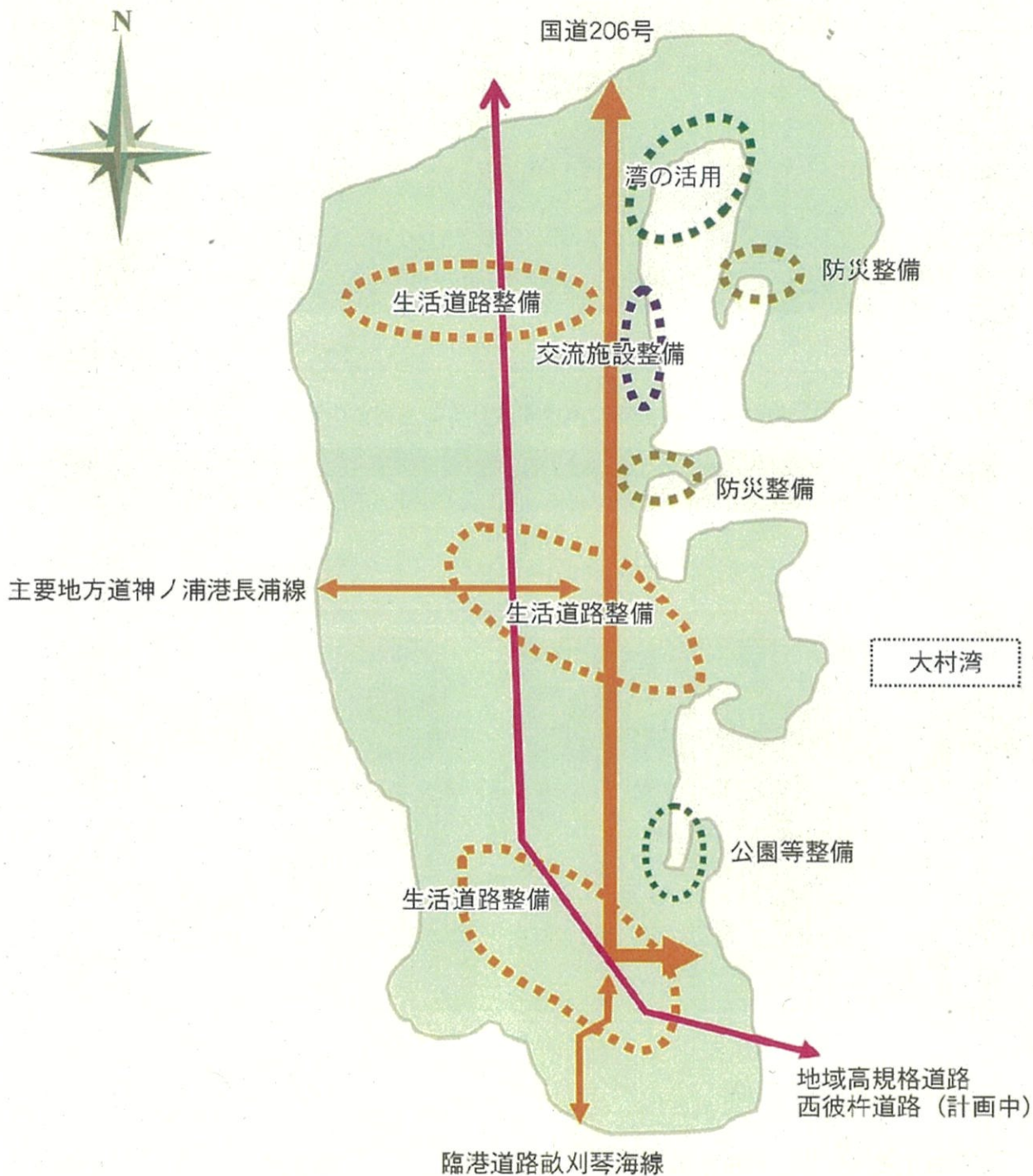
- ・今後も形上湾において、永続的にボート競技を開催するためには、円滑な大会運営のための基盤整備が必要であるため、形上海岸(大平地区)の背後地に本部席や観覧場所などとして利用可能な広場の確保をお願いしたい。

形上湾海滨公園基本構想図 S=1/5000 (4ha)

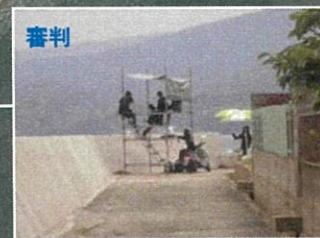


8 市町村建設計画（地区別構想図）（平成17年2月）

■地区構想図（琴海地区）

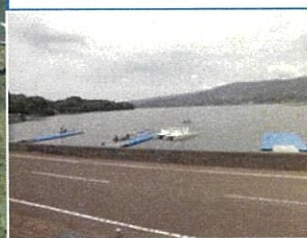


9 ボート競技大会時の状況



格納庫
 ●所有者 : 長崎県
 ●建築年度 : 平成 15 年度
 ●延床面積 : 688.96 m²
 ●収容艇数 : 45 艇

浮棧橋
 ●所有者 : 長崎県
 ●設置年度 : 平成 15 年度
 ●設置基数 : 3 基
 ●アンカーで固定



ボートコース
 L=1,000m

スタート

ゴール

取得用地

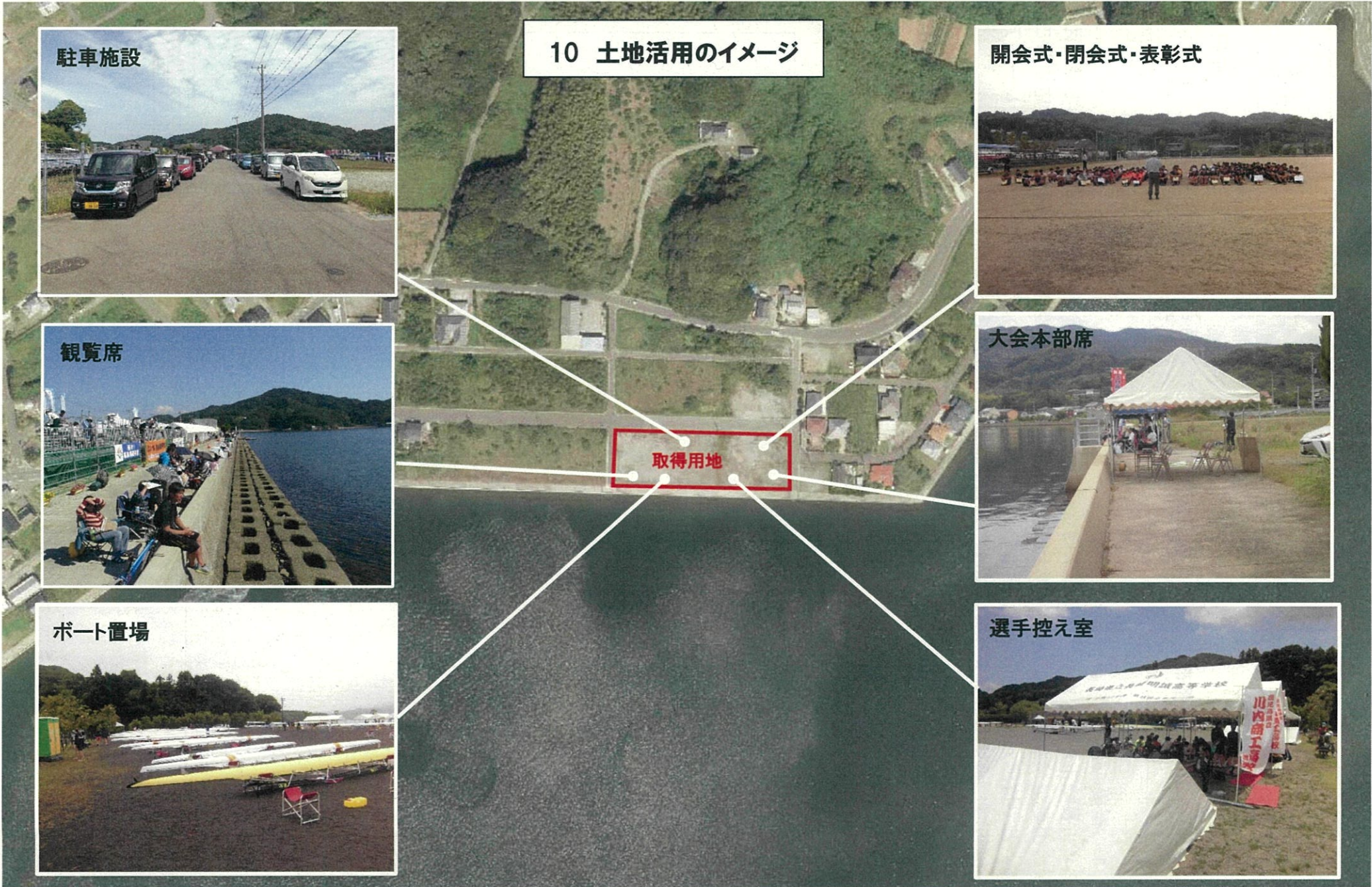
琴海北部運動公園

琴海北部公

ニュー琴海病院

形上湾





10 土地活用のイメージ



取得用地

予 算 説 明 書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
48～49	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	1-1	【単独】都市交通対策 事業費 バス待合所設置事業 費補助金	千円 2,400

1 概要

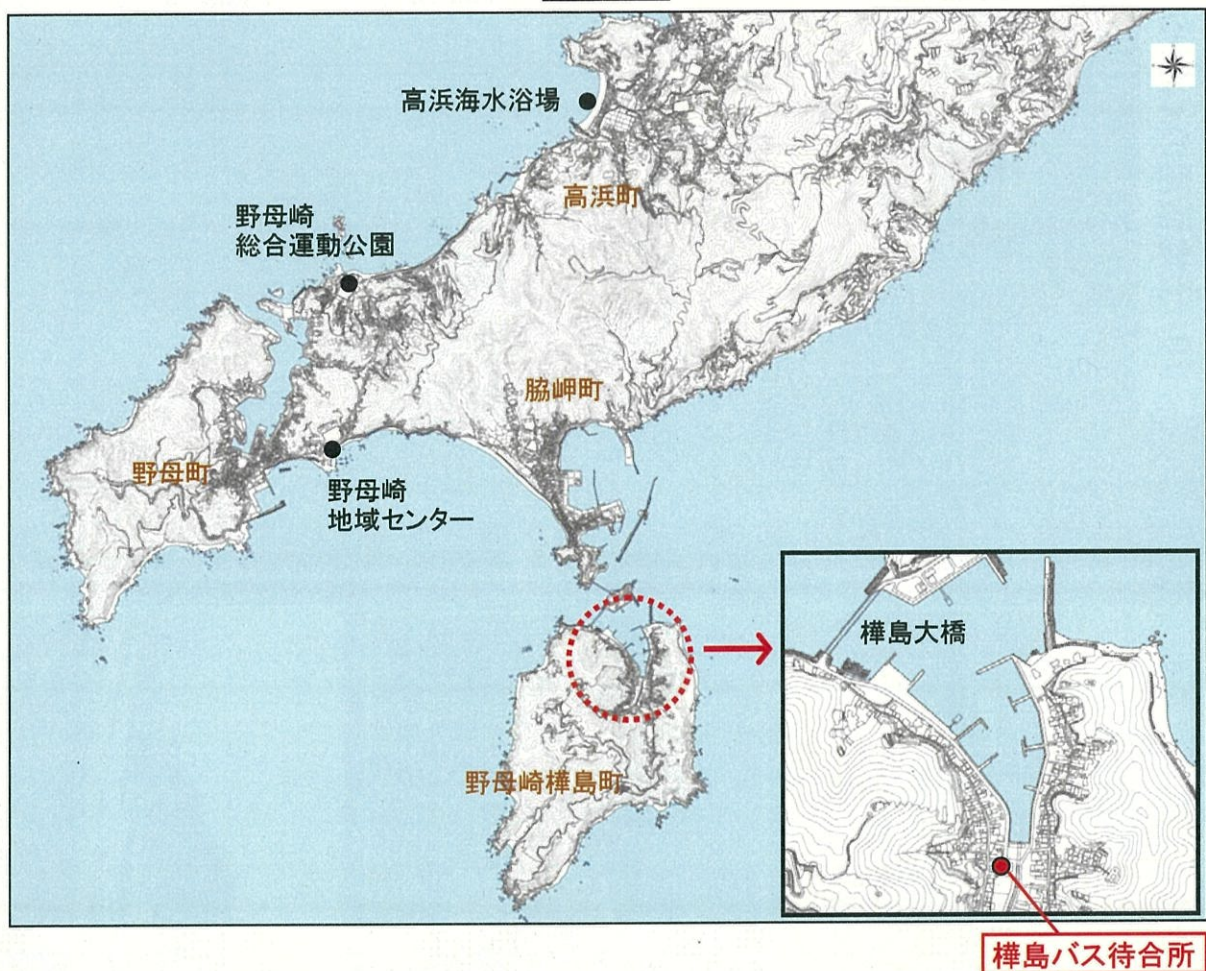
長崎市が管理する「樺島バス待合所」は、老朽化が著しいため地域住民からも建替えの要望がなされている。建替えに当たっては、バス事業者が財産管理も含め対応することで協議が整っているが、通常の上屋設置に止まるため、海風対策としてのグレードアップに要する経費をバス事業者に対して補助するものである。

2 事業内容



(1) 位置

長崎市野母崎樺島町 1697-4

位置図



(2) 建替え計画

区分	現況	計画
土地所有者	長崎県	
建物所有者	長崎市	長崎自動車(株)
構造	鉄骨造	アルミ造 ※屋根材：ポリカーボネイト
建築面積	19.94 m ²	9.00 m ² (3.0m×3.0m)
写真	<p>外観</p>  <p>内部</p>  <p>※昭和 61 年以前に設置</p>	<p>通常タイプ</p>  <p>↓</p> <p>グレードアップ</p>  <p>建替えイメージ</p> <p>※両側面及び背面に海風対策としてポリカーボネイト板を設置</p>

(3) 事業主体

長崎自動車(株)

(4) 事業費

ア 全体事業費：3,300 千円

- ・ 既存バス待合所撤去費：400 千円 … ①
- ・ バス停上屋設置費：2,900 千円
- ┌ 通常分：900 千円 … ②
- └ グレードアップ分：2,000 千円 … ③

イ 長崎市補助金 (①+③)：2,400 千円

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債 ^{※1}	その他	一般財源
当初予算額	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
6月補正額	2,400	—	—	2,400	—	—
補正後	2,400	—	—	2,400	—	—

※1：起債充当率 100% (過疎対策事業債)

—参考—

長崎市が所有するバス停上屋・待合所

(平成31年4月現在)

経過年数	香焼	高島	伊王島	三和	野母崎	外海	琴海	計
0～5					3 (3)			3 (3)
6～10				1 (1)				1 (1)
11～15					7 (7)	2 (2)	1 (1)	10 (10)
16～20			2 (0)	2 (2)	5 (5)		1 (1)	10 (8)
21～	2 (0)	8 (0)	6 (2)		5 (5)		1 (1)	22 (8)
計	2 (0)	8 (0)	8 (2)	3 (3)	20 (20)	2 (2)	3 (3)	46 (30)

※下段()は、民間のバス路線にある施設数(コミュニティバスとの兼用も含む)

【上屋—通常タイプ】



【上屋—側面あり】



【待合所—意匠なし】



【待合所—意匠あり】



【繰越明許費】予算説明書 P68～69

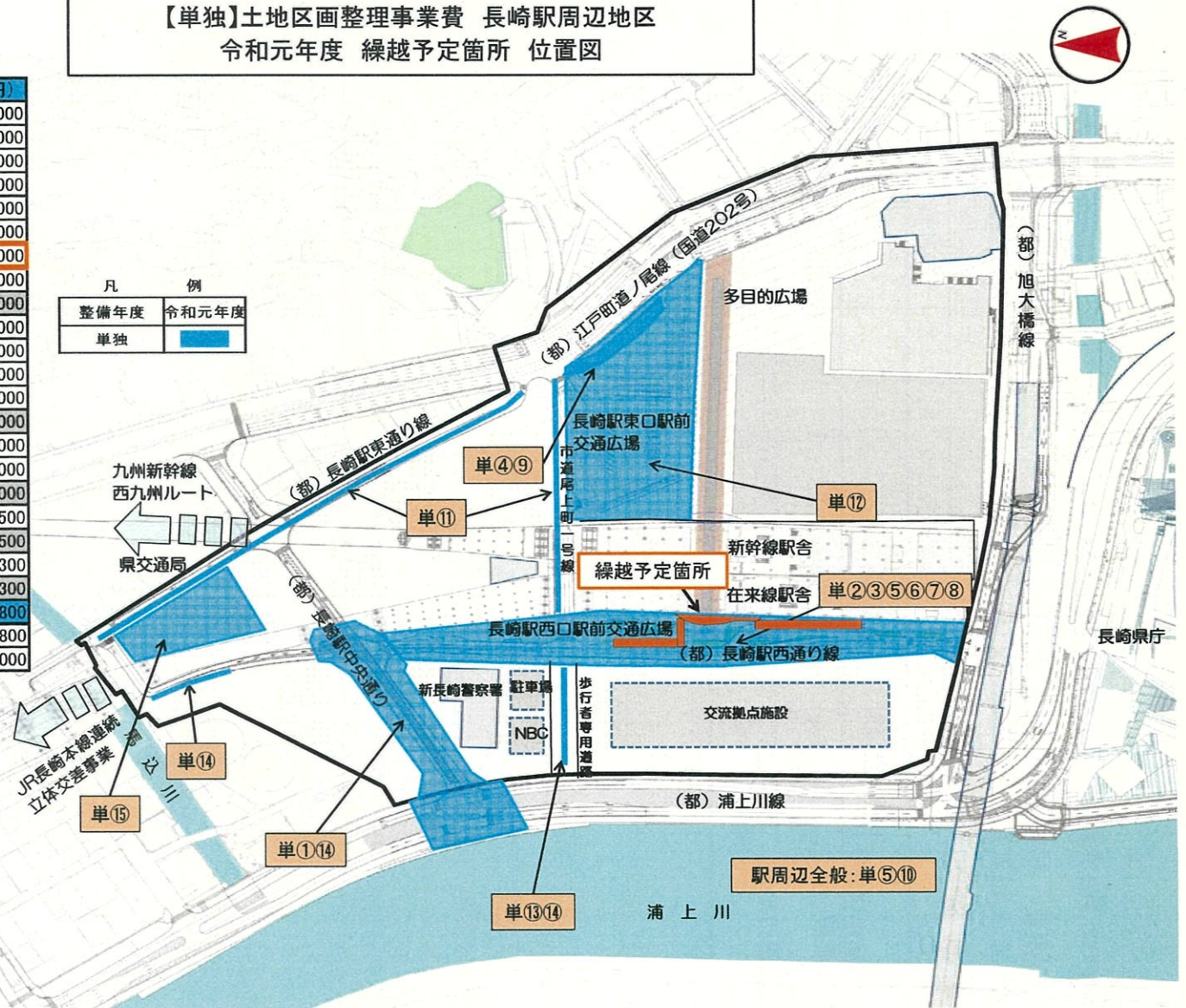
8款 土木費 5項 都市計画費 2目 都市開発費

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【単独】土地区画 整理事業費	予算現額	871,800	-	-	-	400,200	471,600
	支出予定額	461,800	-	-	-	400,200	61,600
長崎駅周辺地区	繰越明許額	410,000	-	-	-	-	410,000

項目	工事名・業務名	事業費(千円)
工事 請負費	単① 中央通り線道路改良工事	60,000
	単② 西通り線道路改良工事	80,000
	単③ 西口駅前広場整備工事	30,000
	単④ バス停仮移設工事	15,000
	単⑤ 道路案内看板設置工事	60,000
	単⑥ 駐車場整備工事	42,000
	単⑦ 西口駅前広場屋根設置工事(繰越予定)	410,000
	単⑧ 駅西口サイン設置工事	54,000
	小計	751,000
単 測 量 ・ 設 計 費	単⑨ バス停仮移設測量設計	5,000
	単⑩ 道路案内看板設計	5,000
	単⑪ 電線共同溝詳細設計	20,000
	単⑫ 駅前広場設計	20,000
	小計	50,000
負担金	単⑬ 上水道施設工事費協定	17,000
	単⑭ 下水道施設工事費協定	21,000
	小計	38,000
補償金	単⑮ JR貨物補償費	29,500
	小計	29,500
事務費	その他事務費	3,300
	小計	3,300
	合計(予算現額)	871,800
	支出予定額	461,800
	繰越予定額	410,000

【単独】土地区画整理事業費 長崎駅周辺地区
令和元年度 繰越予定箇所 位置図

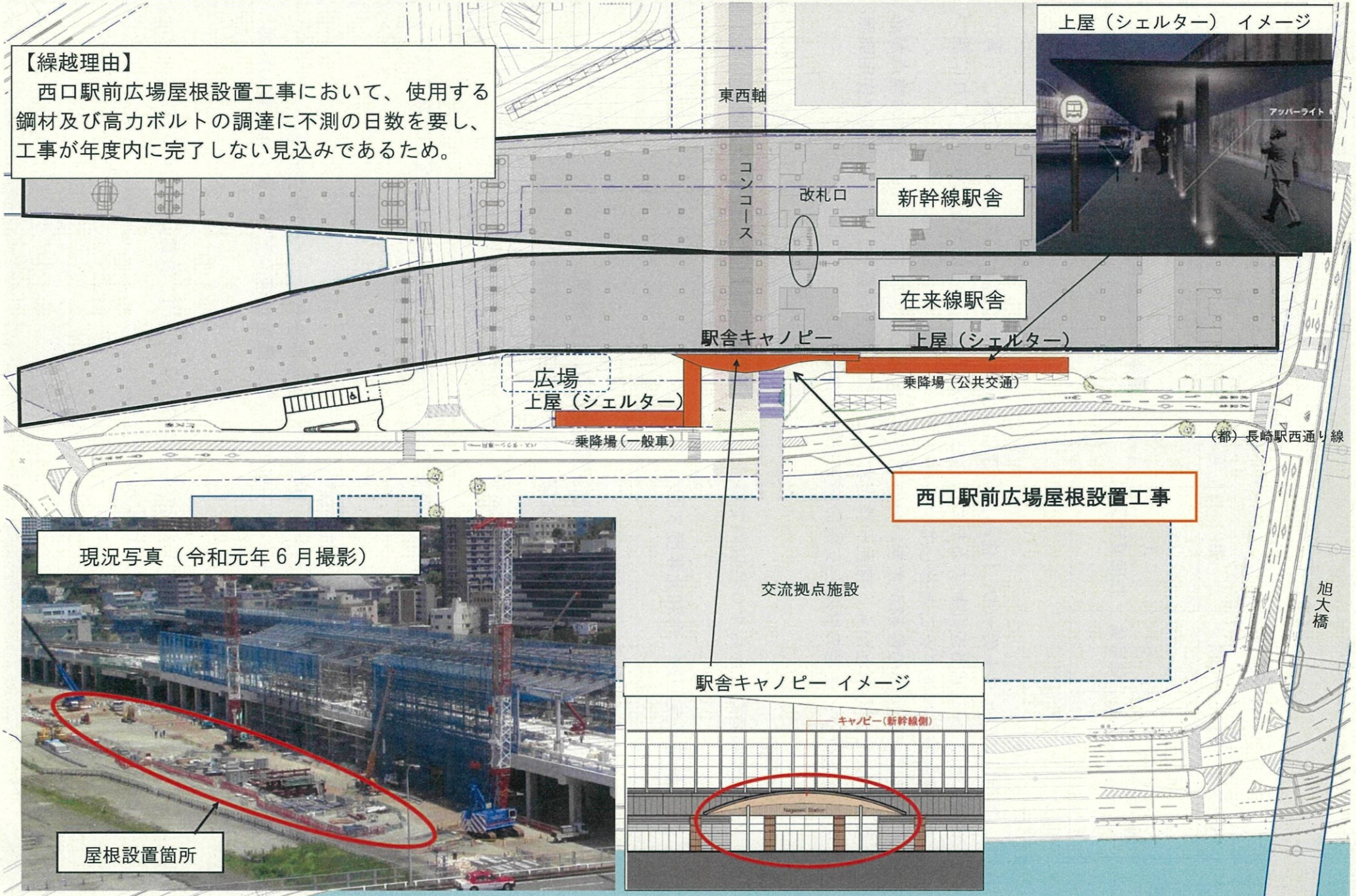
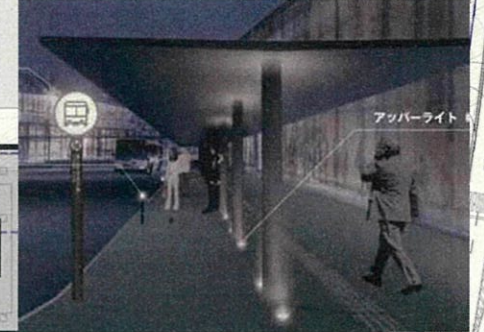


【単独】土地区画整理事業費 長崎駅周辺地区 令和元年度繰越予定箇所

【繰越理由】

西口駅前広場屋根設置工事において、使用する鋼材及び高力ボルトの調達に不測の日数を要し、工事が年度内に完了しない見込みであるため。

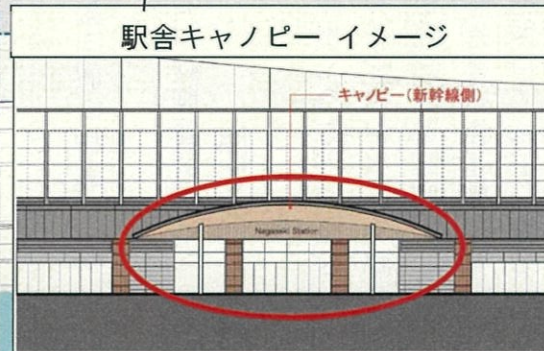
上屋（シェルター）イメージ



現況写真（令和元年6月撮影）



駅舎キャノピー イメージ



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
50~51	8 土木費	6 住宅費	1 住宅管理費	1-1	住宅政策協議会費	千円 253

1 目 的

重点プロジェクトの一つ、「住みよかプロジェクト」においては、特に、若者、子育て世帯の市外への流出を抑制するために、住宅供給の視点から政策を立案し、これに基づき各種施策を実施することとしている。

住宅供給は民間の役割が大きい分野であり、政策の立案にあたっては民間の視点が必要不可欠であることから、官民一体となった検討組織を設置し、実効性の高い住宅政策の策定を行い、住宅の供給と支援の施策を展開するもの。

2 事業概要

学識経験者などから10名以内で選任し、政策策定に関する協議を行う。

(1) 開催予定回数 令和元年度3回

(2) スケジュール

令和元年8月 協議会開催（問題、課題の抽出及び整理）

令和元年10月 協議会開催（政策、施策の方向性の確認）

令和2年2月 政策策定

(3) 委員構成

学識経験者、産業関係団体を代表する者、市民活動団体を代表する者、公募市民など

(4) 議題とする主なテーマ

ア 若年、子育て世帯への住宅供給

イ 若年、子育て世帯への民間賃貸住宅（社宅等を含む）への居住支援

ウ 市営住宅建替え余剰地への子育て・高齢・障害世帯の支援に資する施設の誘導

(5) 事業費内訳

・ 委員報酬 239千円（会長@8,700円、委員@7,850円）

・ 旅費（費用弁償） 11千円

・ 消耗品費 3千円

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算額	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
6月補正額	253	—	—	—	—	253
補 正 後	253	—	—	—	—	253

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
50~51	8 土木費	6 住宅費	1 住宅管理費	2-1	【補助】既設公営住宅 改善事業費 小ヶ倉団地ほか	千円 116,700
				3-1	【単独】既設公営住宅 改善事業費 小ヶ倉団地ほか	千円 6,100

1 概 要

市営住宅の計画的な維持修繕を行い、居住水準の維持及び向上を図るもの。

2 補正理由

市営住宅の外壁改修を行うにあたり、石綿含有仕上塗材の飛散防止対策による施工方法が決定したことから、改修費を予算計上するもの。

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 (※1)	県支出金	地方債 (※2)	その他	一般財源
当初予算額	補助 千円 —	千円 —	—	千円 —	千円 —	千円 —
	単独 —	—	—	—	—	—
	合計 —	—	—	—	—	—
6月補正額	補助 116,700	54,068	—	62,500	—	132
	単独 6,100	—	—	—	—	6,100
	合計 122,800	54,068	—	62,500	—	6,232
補 正 後	補助 116,700	54,068	—	62,500	—	132
	単独 6,100	—	—	—	—	6,100
	合計 122,800	54,068	—	62,500	—	6,232

※1 社会資本整備総合交付金

補助率 対象事業費 (85,597千円) の 45/100

補助率 対象事業費 (31,103千円) の 50/100

※2 公営住宅建設事業債

充当率 地方負担分 (62,500千円) の 100/100

4 建物概要

(1) 小ヶ倉団地5号棟（外壁改修）

棟の名称	市営小ヶ倉団地 5号棟（公営住宅）
建設年度	昭和62年
戸数	36戸
構造	鉄筋コンクリート造 9階建
アスベスト含有	有り
金額	76,180千円

(2) 深浦団地K1棟（外壁改修）

棟の名称	市営深浦団地 K1棟（改良住宅）
建設年度	昭和48年
戸数	30戸
構造	鉄筋コンクリート造 5階建
アスベスト含有	有り
金額	32,740千円

(3) 高浜第3団地3号棟（外壁改修）

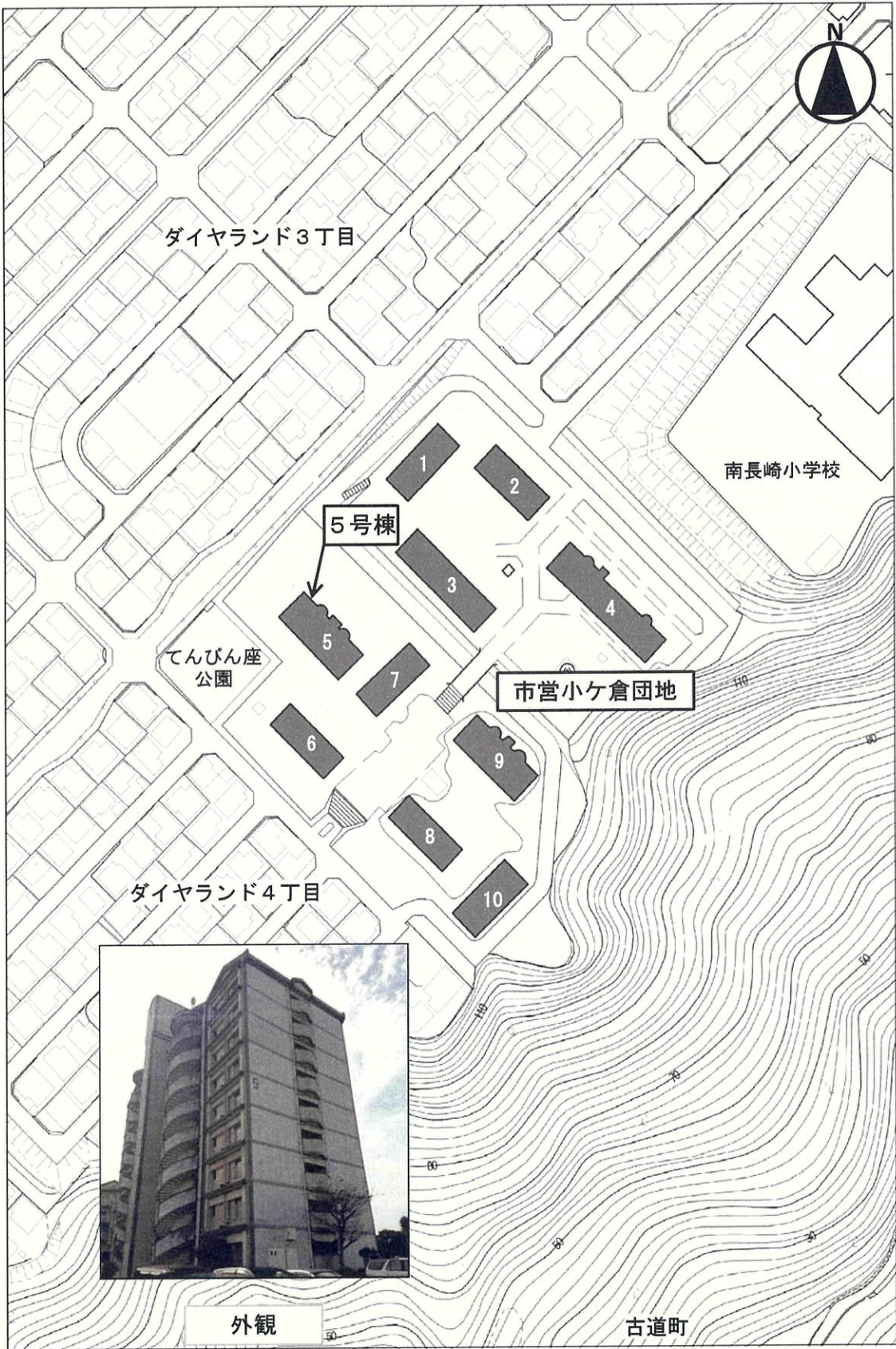
棟の名称	市営高浜第3団地 3号棟（公営住宅）
建設年度	昭和62年
戸数	4戸
構造	補強コンクリートブロック造 2階建
アスベスト含有	無し
金額	6,880千円

(4) 樺島団地2号棟（外壁改修）

棟の名称	市営樺島団地 2号棟（公営住宅）
建設年度	昭和58年
戸数	4戸
構造	補強コンクリートブロック造 2階建
アスベスト含有	無し
金額	7,000千円

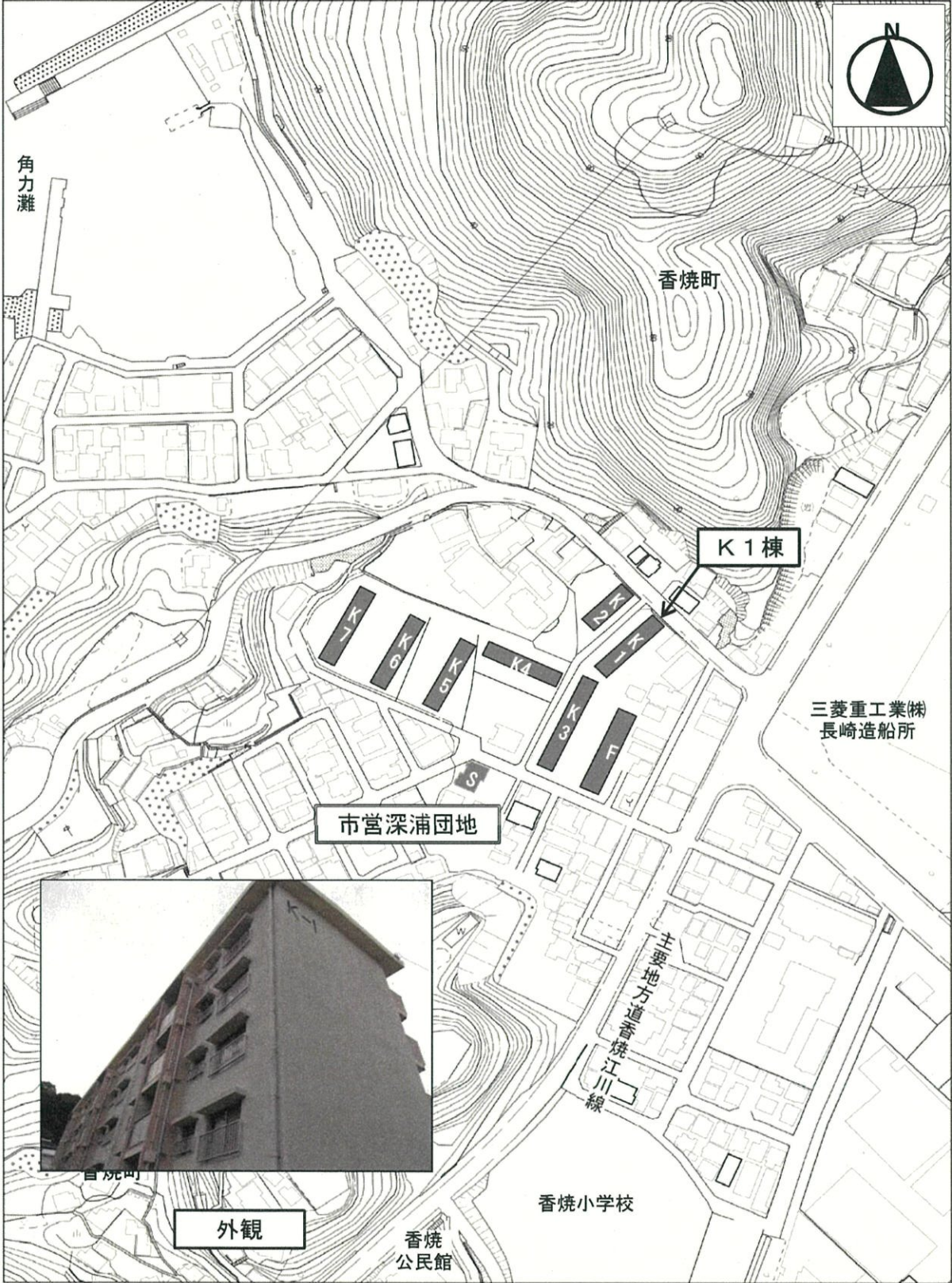
合計	122,800千円
----	-----------

小ヶ倉団地 位置図 (外壁改修)

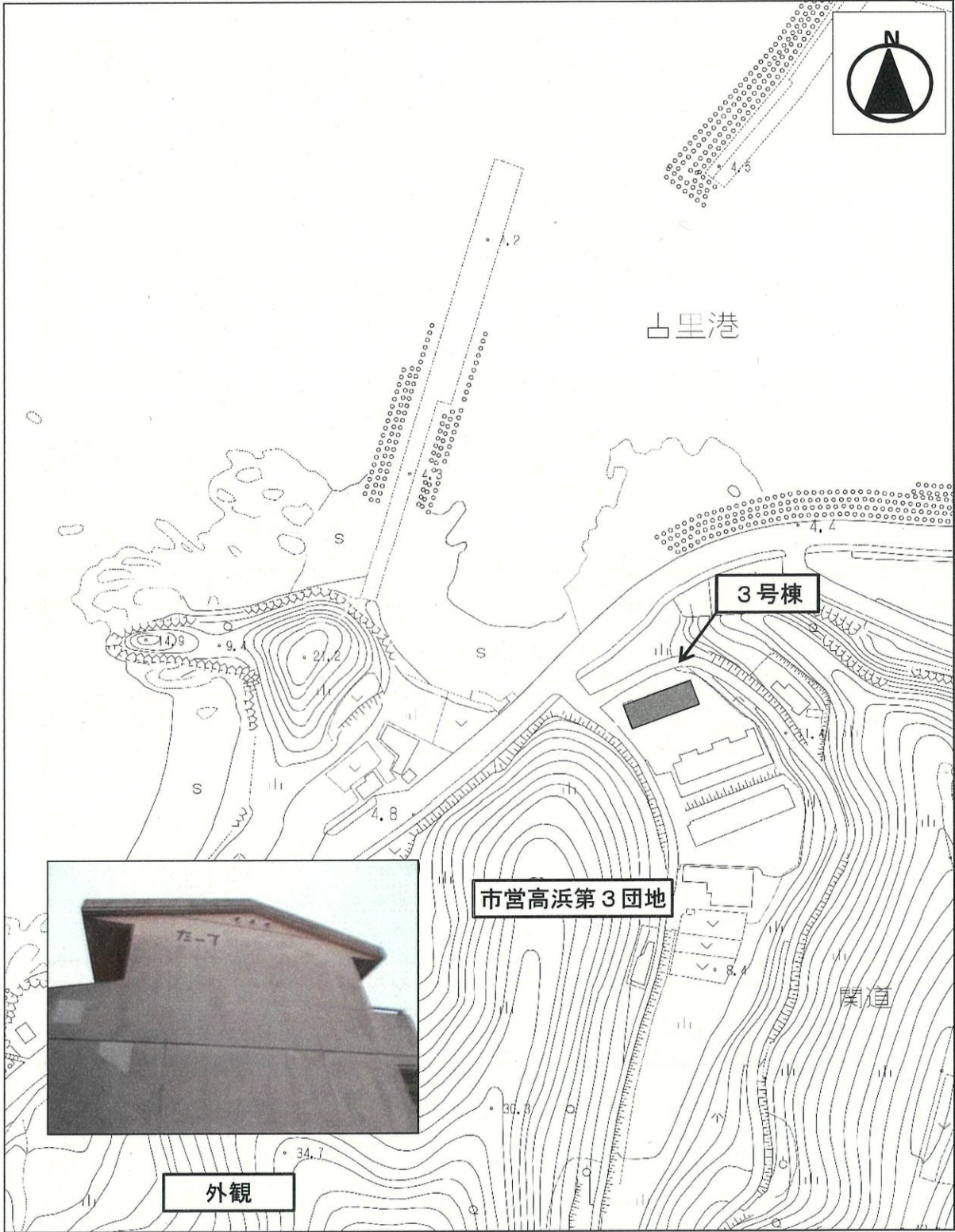


外観

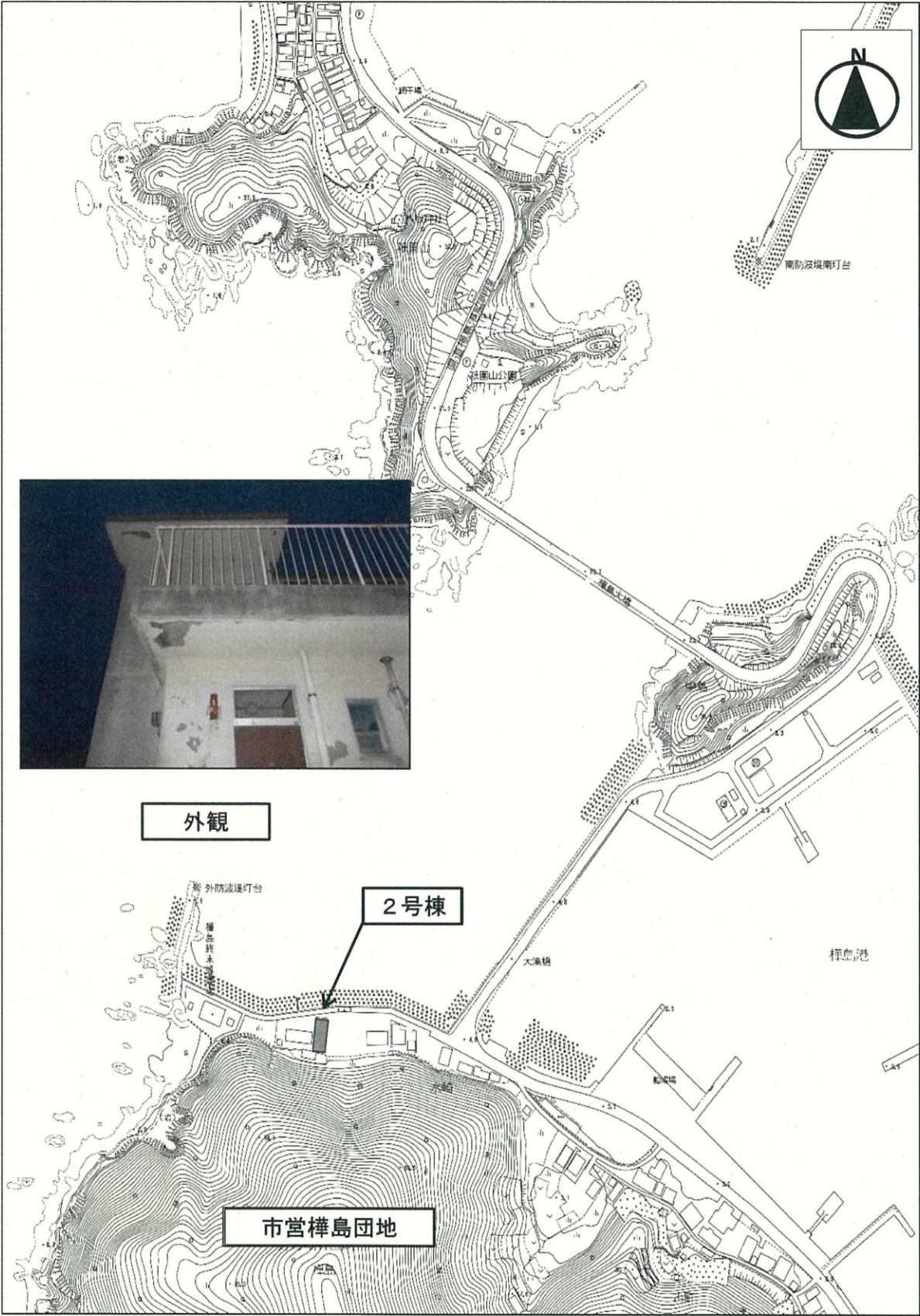
深浦団地 位置図 (外壁改修)



高浜第3団地 位置図 (外壁改修)



樺島団地 位置図（外壁改修）



外觀

2号棟

市営樺島団地

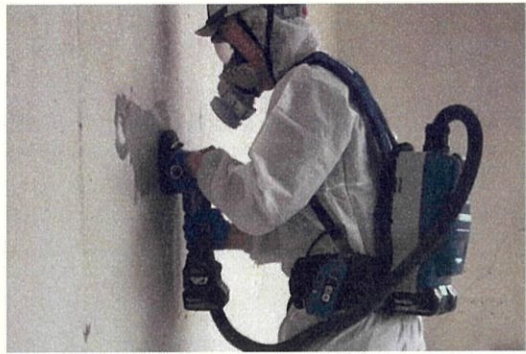

アスベスト含有仕上塗材除去工法の選定について

- 1 外壁等吹付仕上塗材の種別ごとに試料（1試料あたり3箇所）を採取
 - ↓
- 2 建材製品中のアスベスト含有率測定方法（JIS A 1481-1）により分析を実施
 - ↓
 - 含有しない場合、通常の改修工事
 - ↓
- 3 アスベスト含有が確認された場合、塗材除去後に改修工事実施
採用工法：集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法※

※県内業者にて施工可能な工法

なお、塗材を剥離剤と工具で除去する方法（剥離剤併用手工具ケレン工法）もあるが、今回の工事はひび割れ箇所の塗料のみを除去するため、剥離剤を使用した場合、残存部に影響を与え、付着度を弱めるため採用しない。

<参考> アスベスト含有仕上塗材除去工法（県内業者にて施工可能な工法）

工 法	集じん装置付き ディスクグラインダーケレン工法	剥離剤併用手工具ケレン工法
費 用	3万～4万円/m ²	2万円程度/m ²
剥離剤の適用	無機・有機系塗材ともに適	有機系塗材のみ適
工 法 の 詳 細	高速回転する電動器具にディスクを取付けて研磨し、発生する粉塵を取りつけられた集塵装置で除去する工法	剥離剤を既存仕上塗材に塗布し、柔らかくなった仕上塗材をスクレーパーなどの手工具でケレンする工法
工法のイメージ		

国立研究開発法人建築研究所・日本建築仕上材工業会：「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」、厚生労働省：「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」による。